

令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	学生・高校生部門
------	----------

※プルダウンから選んでください

【1】事前相談について

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談

コーディネーター名	高山
事前相談日時	5/3(金) 16:00-17:00、5/7(火) 16:30-17:00、5/10(金) 16:30-17:00 (オンライン)
申請可能と言われた日時	5/16(木) 7:00 (オンライン)

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※学生・高校生部門は不要です

協働希望課名	
事前相談日時	
申請可能と言われた日時	


※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件について

該当する部門の応募要件の□内に、○を記載してください。(プルダウンになっています)

該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	これらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	
スタート、一般、団体連携	翌年3月31日までに事業を完了できる。	
学生・高校生部門	翌年2月28日までに事業を完了できる。	○
スタート部門	過去に採択された団体ではない。	
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。	
一般部門、団体連携部門	過去2回以上採択された団体ではない。	

【3】申請者について

団体の名称	学生団体ウィーコード
団体名称のフリガナ	ガクセイダンタイウィーコード
代表者	
役職名	代表
氏名（フリガナ）	油谷 駿杜（アブラタニ シュント）
団体の所在地	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
構成員	計10名（金沢チーム）
（内訳）	（1）市内関係者7名 （2）その他3名
設立年月日	2024年3月5日 （設立1年目）
設立の目的	<p>「プログラミングは難しい」というイメージを払拭し、すべての世代の方にプログラミングの楽しさを広め、「デジタルデバイドの解消+α」の未来の実現を目指して設立しました。</p> <p>「デジタルデバイド」とは情報格差のことで、IT を使いこなせる人とそうでない人の格差を表しますが、我々はデジタルデバイドの解消「+α」の未来を目指しています。それは、「全員がIT を使う側にも作る側にもなれる」未来です。「こういうアプリがあったらいいな」と思いついたら、アプリが登場するのを待つのではなく自分で作って使うことができる。この状態こそが真の情報化社会だと考えており、我々が望む未来です</p>
活動概要と団体のPR	<p>学生団体ウィーコードは「第三言語、プログラミング」をモットーに、金沢市を中心にすべての世代のすべての方にプログラミングを広める活動を行っています。具体的には「2時間でTwitter風アプリを作れる」といったユニークなイベントをこれまで金沢市・富山県高岡市で3回開催しました。プログラミングを抵抗なく体験していただくにはキャッチーなタイトルにすることが重要と考え、気を配ってイベントを企画しています。</p> <div>   </div> <p>これまでプログラミング教育といえば子供がターゲットであることが多かったですが、我々の使命は「すべての世代に」プログラミングの楽しさを広めることであり、社会人やお年寄りの方もターゲットにして活動を進めています。2024年3月4日の設立から2ヶ月ですが、イベントを複数開催し、イベント企画/運営・わかりやすいプログラミング授業・チラシデザインなどのノウハウをつけております。</p>

活動概要と団体のPR	ウィーコードの強みは、代表が現役のエンジニアであるということです。最新の技術を常に把握し、現場で培ったノウハウを最大限活用しています。また、広報活動としてメディアに積極的に取材のお願いをしております。現在、以下のメディアに取材いただいております。	
HP,SNSのURL	https://wecode.brw.jp	
担当者連絡先		
役職名	代表	
氏名（フリガナ）	油谷 駿杜（アブラタニ シュント）	
住所		
電話番号		
FAX番号		
メールアドレス		
携帯電話番号		

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」とし記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者」部分のみです。

【4】企画内容について

提案事業・テーマ	(3) 人づくり
企画のタイトル	多世代向けプログラミング体験イベント
事業効果	※特に事業の対象者が具体的にどうなるかを以下に記入してください。
現状の地域課題	<p>近年はプログラミングスクールが大きく増加したほか、行政によるプログラミング体験イベントや学校でのプログラミング学習なども開始され、子供がプログラミングを学ぶことはとても容易になりました。</p> <p>金沢版子供プログラミング教育（金沢市・2019年）</p> <p>しかし、我々は現状のプログラミング教育には主に2つの課題があると考えます。</p> <p>その1つが体験格差です。プログラミング教育にはパソコンが必須ですが、持参できる児童生徒は限られます。GIGAスクール構想によって児童生徒には1人1台のパソコンが支給されているものの、学校外への持ち出しが禁止されているケースが多く、また家にパソコンがない家庭も多いです。そこで、我々は私物を工面して貸し出しを行なっていますが、まだ台数が足りません。</p> <p>さらに、プログラミングを「無料で、継続的に」学べる場というのは非常に少ないです。経済的な理由や家庭の方針などの理由でプログラミングスクールに通うことのできない子供も一定数おり、そのような子供たちに無料かつ継続的に学ぶ場を提供することは非常に重要だと考えます。これは、単発の講座でプログラミングに興味を持った子供がその次のワンステップに進むことは、将来のIT人材の育成という観点からも非常に子供自身、そして社会にとって有益であるからです。</p> <p>我々の団体では上記の他に「年齢の格差」の問題も提起しています。現在「プログラミング教育」は小中学生がメイン層となっており、それ以外の幼稚園児や社会人・お年寄りについてはあまり数が多くありません。この問題については学生向けのイベントを通じて得たノウハウをもとに順次数を増やし解決していく予定です。この度の協働のまちづくりチャレンジ事業についてはそのための土台作りをしたいと考えております。</p> <p>もう1つが時間のハードルです。</p> <p>我々の実施する講座も含め、単発のプログラミング体験講座は参加のハードルなど広報面で、開催が1日に限られることが多いです。先ほどの「継続的に学ぶつようがある」と述べた内容とも繋がりますが、1度得たプログラミングへの興味をさらにステップアップした講座に持ち込むことは非常に重要です。モチベーションが一番高い状態でステップアップした講座を実施するには、2日連続で講座を開催することが最適だと考えます。</p>

<p>事業の実施により期待される効果</p>	<p>上記で述べたとおり、「無料で、継続的」なプログラミング講座を可能な限りパソコンやタブレットを貸し出す形で提供することが重要です。</p> <p>そこで、夏休み期間中の平日にプログラミング体験講座を2日連続で開催します。通常の学期期間であれば2日連続で開催することは難しいですが、夏休み期間を活用することによって家庭の用事などによんハードルが減り参加できる方が増えると考えています。</p> <p>また、夏休み中に石川県立図書館のイベントスペースでプログラミング体験イベントを実施します。イベントスペース入り口から非常に近く、通る人も多いです。50分ずつの講座を3回実施し、事前予約も受け付けつつ飛び入り参加の方をメインに実施し、小中学生以外にも高校生～大学生や大人の方も参加いただけるようにします。これによりこれまでにない層にプログラミングの楽しさを広めます。</p> <p>そして、夏休みのプログラミング体験講座終了後の9月と10月に、月2度プログラミング体験講座を定期開催します。これは、夏休みのイベントでプログラミングに興味を持った子供達のサポートを1度きりで終わらず、定期的に講座を開催することで子供たちのモチベーションを絶やさない狙いがあります。</p> <p>以上の事業を実施することで、プログラミングの特性がある子供たち、そして大人たちにプログラミングを定期的に学ぼうというモチベーションを与え、前述の通り、将来のIT人材の育成に貢献することができると考えています。</p> <p>まちづくりチャレンジ事業として行うイベントが終了した後も我々がイベントを引き続きイベントを運営することで、プログラミングに興味のある子供たちのコミュニティを成立させることができ、同世代の子どもたちが互いに技術を高め合いながらプログラミングを学ぶ環境を作り出すことができます。</p>
<p>その他</p>	

事業の概要	
<p>具体的な実施内容</p> <p>※「誰が」「何を」「いつ」「どのくらい」「どこで」「どのように」実施するのかを具体的に記入してください。</p>	<p>【単発イベント・小学生夏休みプログラミングキャンプ】</p> <p>▷日時 8月の平日2日間（キャンプという名前ですが宿泊ではありません） 10:00-16:00</p> <p>▷場所 金沢学生のまち市民交流館（石川県金沢市片町2丁目5-17）</p> <p>▷参加費 無料</p> <p>▷対象者 小学3年生～6年生</p> <p>▷定員 30名</p> <p>▷目的 同世代の仲間とのチームワークを深めながら、アプリ開発の楽しさを感じる。</p> <p>▷備考 希望者にタブレットの貸し出しを実施します（上限27台、ウィーコード在庫4台+委託費によるリース23台）</p> <p>▷実施内容 適宜レクリエーションも交え、チームワークを深めながらアプリ開発体験を行います。</p> <p>（1日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエン ・スクラッチでゲーム制作体験（小中学生に大人気のゲーム開発ツール） ・マイクロビットの体験（スクラッチと連携させて実際に動きを体験できるIoTツール） <p>（2日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーコードツールでアプリ開発体験（スクラッチよりも本格的なアプリが開発できるツールで、YouTubeなど身近なアプリの開発を体験する） <p>▷運営体制 各回 講師（油谷駿杜）：1名、スタッフ（TA）：2-4名</p> <p>【単発イベント・気軽なプログラミング体験イベント】</p> <p>▷日時 夏休み期間の休日1日 13:30-16:30</p> <p>▷場所 石川県立図書館 だんだん広場（石川県金沢市小立野2丁目43-1・会場利用費・12,920円）</p> <p>▷参加費 無料</p> <p>▷対象者 小学1年生～大人（適宜レベル分け・事前予約以外に当日参加も可能）</p> <p>▷定員 各回定員13名、合計定員39名</p> <p>▷目的 図書館に立ち寄った人向けに気軽に体験できるプログラミング講座を実施し、プログラミングに興味を持ってもらう。今後の参加者につなげる。</p> <p>▷備考 希望者にタブレットの貸し出しを実施します（上限27台、ウィーコード在庫4台+委託費によるリース23台）</p> <p>▷実施内容 各回50分間で対象の年代ごとにプログラミング体験を行う。（小中学生、パソコンに不慣れな方：（初級）Scratchによるゲームプログラミング体験、中学生～大人：（上級）ノーコードツールによる本格的なアプリプログラミング体験）</p>

<p>具体的な実施内容</p> <p>※「誰が」「何を」「いつ」「どのくらい」「どこで」「どのように」実施するのかを具体的に記入してください。</p>	<p>▷運営体制 中学生～大学生向け講師：1名（1回キャパ：3名） 小中学生向け講師：4名（1回キャパ：10名） 受付：1名</p> <p>【定期イベント・小中学生プログラミング塾】</p> <p>▷日時 9月、10月の隔週、2回ごとにテーマを変えて参加者を募集する。合計4回 13:00-15:00</p> <p>▷場所 金沢学生のまち市民交流館（石川県金沢市片町2丁目5-17）</p> <p>▷参加費 無料</p> <p>▷対象者 小学3年生～中学3年生</p> <p>▷定員 30名</p> <p>▷目的 定期開催型の講座により、これまでの参加者の学習モチベーション持続を狙う。</p> <p>▷備考 希望者にタブレットの貸し出しを実施します（ウィーコード在庫4台+委託費によるリース4台）</p> <p>▷実施内容</p> <p>▷運営体制 各回 講師（油谷駿杜）：1名、スタッフ（TA）：2-4名</p>
-----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

企画内容にかかる注意事項

- ※単発的なイベントで終わるものではなく、通年的な活動や今後に繋がる継続性を考慮した事業を提案してください。
- ※実施方法（予定日時・予定場所・実施形態・予定講師・参加見込数）など出来るだけ具体的に記載ください。
- 別途資料を添付する場合は、A4サイズをお願いします。
- ※既存の事業で応募する場合、工夫や改善した点を明確にしてください。

【５】事業収支予算書

委託費

100,000 円

収入の部

(単位： 円)

科目	金額	内訳など
委託料	100,000	金沢市より
計【A】	100,000	

支出の部

(単位： 円)

科目	金額	内訳など
交通費	12,240	講師交通費（西高岡⇄金沢・1,600x7=10,200円）、 講師交通費（諸江⇄金沢・440x7=3,080円）
印刷製本費	10,550	ラクスル チラシ印刷5,000部
使用料及び賃借料	58,720	タブレットリース1週間（1,700x21台=34,000円）、 タブレットリース2ヶ月（5,600x2台=11,800円）、 会場料（県立図書館・12,920円）
材料費	15,000	マイクロビット（3000x5=15,000円）※リース不可
消耗品費	3,490	プロッキーツイン（水性マーカー・1,200x2=2,400 円）、名札ケース（110x2=220円）、名札カード （870円）
計【B】	100,000	

【A】収入合計と【B】支出合計は一致（同額）させてください。

ウィーコード
学生団体 WeCode

第三言語、 プログラミング。



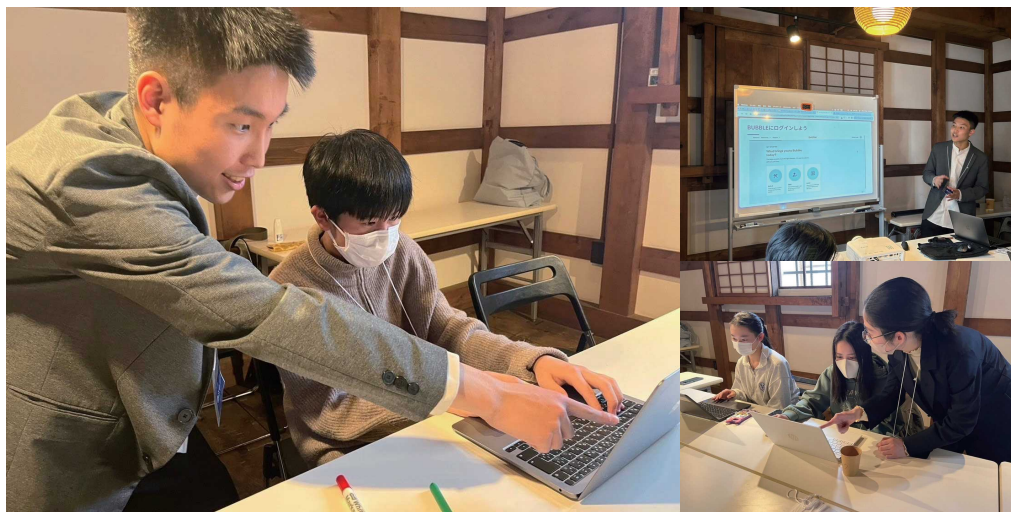
すべての人に プログラミングの楽しさ を広める

「プログラミングって難しいでしょ？」

そんなイメージを払拭し、プログラミングを
すべての世代のすべての人にとって楽しくて便利なツールに。

「ノーコード」という誰でも簡単にアプリが作れるツールを通じて
プログラミングをもっと身近に。

活動内容



WeCodeが北陸地方で初めて*実施した学生向けのノーコード体験講座 (3/5)

イベント企画運営

プログラミングの面白さを実感していただくためには、実際に触っていただくのが一番です。我々は北陸地方で初めて*学生向けに本格的なノーコード体験講座を実施しました。このイベントを軸に、今後学生に限らず社会人・年配の方など幅広い年代の方向けのイベントを展開していく予定です。

(* WeCode 調べ)



外部講師の様子

他の団体様とのミーティング

外部連携

他団体とのイベント共同開催や外部講師など、外部との連携を積極的に行っております。最近では食品関係のイベントに取り組む団体様と連携をさせていただくなど、プログラミングに限らず幅広いジャンルでご協力いただける団体を募集しています。



デジタルデバイドの解消 +α

「デジタルデバイド」は情報格差のことで、ITを使いこなせる人とそうでない人の格差を表しますが、我々はデジタルデバイドの解消「+α」の未来を目指しています。それは、

「全員がITを使う側にも作る側にもなれる」

未来です。

「こういうアプリがあったらいいな」と思いついたら、アプリが登場するのを待つのではなく自分で作って使うことができる。この状態こそが真の情報化社会だと考えており、我々が望む未来です。

これからの展望



今後のイベント予定

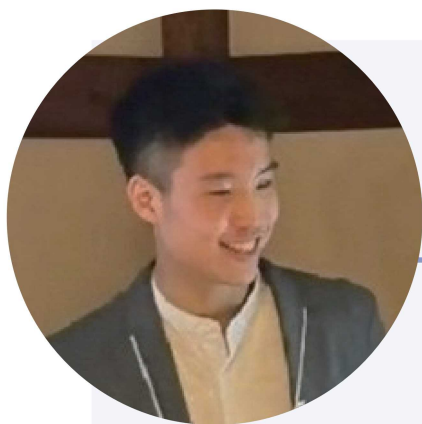
予定しているイベントの一例です！直近のイベント
情報は公式ホームページからご確認いただけます→

(<https://x.gd/wecode>)



5月12日	【中高生向け・共同開催】 金沢市 Scratch講座 × 現役エンジニア座談会
6月8日、15日 (前編後編)	【小学生向け】 金沢市 小学生向けアプリ開発講座
6月29日	【学生/社会人向け・共同開催】 高岡市 代表・油谷駿杜 講演会 (テーマ: 学生起業・ノーコード・WeCode)
7月14日	【社会人向け・共同開催】 高岡市 社会人向け ノーコード体験講座
11月23日	【全世代向け・外部イベント】 野々市市 いしかわ食わかちai(フードバンク) 出張アプリ開発講座

役員紹介



代表/デザインマネージャー

油谷 駿杜 *Shunto Aburatani*

株式会社Brownie取締役 / 角川ドワンゴ学園S高等学校2年

中学1年生の頃パソコンを自作し、プログラミングに興味を持つ。
大手プログラミング学習サービスでのアルバイトなどの経験を経てエンジニアとして法人設立に参画。現在に至る。
大手企業からの受託開発やプログラミングの講師として活動するかたわら、Adobe認定アソシエイトとして動画の企画制作も行う。

副代表スーパーバイザー

芝田 悠悟 *Yugo Shibata*

角川ドワンゴ学園N高等学校3年

起業に興味があり、いずれ旅行系の事業を立ち上げたいと考えている。福島県大熊町や高知県など、全国各地のイベントに参加し、イベント運営の経験が豊富。代表の油谷と共にWeCodeを設立し、初回イベントから共同で運営を行っている。



メンバー募集

≡ WeCode でしか味わえない、貴重な体験を



活動内容 イベント運営が主なお仕事です。そのほかに、次のお仕事もあります。(SNS広報、ポスターなどデザイン制作、内部システム開発、イベント企画立案)。その他、年に4回程度メンバーの交流会を開催します。

活動場所 オンライン(イベント・交流会の際は現地)

参加条件 金沢市周辺への移動が容易な中学生～大学生

活動頻度 WeCodeは月1～2回程度イベントを主催・共催しています。その中から都合の良いものを選んで運営に参加していただく形をとっています。

コミュニケーションツール LINE、Google Meet

お申し込み https://x.gd/wecode_entry QR →





アクティブメンバー制度

WeCodeで **もっと** 成長したいあなたへ。



アクティブメンバーは、通常のメンバーよりも主体的にWeCodeの運営に携わることのできる制度です。原則すべてのイベント(月に1～2回程度)の運営に参加する義務がありますが、週に一度のミーティングや年に2回の総会に参加することができます。1回以上のイベント運営を経験したメンバーであれば誰でもアクティブメンバーになることができます。

団体概要

名 称	学生団体WeCode (読み方:ウィーコード)
ホームページ	https://wecode.brw.jp
設 立	2024年3月5日
メンバー数	12人 (2024年4月15日時点・うちアクティブメンバー5人)
所在地	富山本部 富山県高岡市立野2907 金沢支部 石川県金沢市三口町金487
活動内容	イベントの企画運営、プログラミングの外部講師、外部イベントの運営協力
お問い合わせ	 ←お問い合わせフォーム(https://x.gd/wecode_toi)またはInstagram↓まで！  Instargam @wecode_student

